

2008年5月20日

平成19酒造年度 全国新酒鑑評会において 「白鶴酒造(株) 本店三号工場・本店二号蔵・旭蔵」の三酒造場が金賞を受賞

白鶴酒造株式会社（本社：神戸市、社長：嘉納健二、資本金：4億9,500万円）では、平成19酒造年度全国新酒鑑評会（独立行政法人 酒類総合研究所 主催）において

1. 本店三号工場
2. 本店二号蔵
3. 旭蔵

の三酒造場すべてが金賞を受賞しました。

醸造技術と品質の更なる向上を目的とした平成19酒造年度全国新酒鑑評会は広島県東広島市の独立行政法人酒類総合研究所にて4月22、23、24日に予審、5月8、9日に決審が行われ、20日にその結果が同所ホームページ上（<http://www.nrib.go.jp>）で公開されました。

通算96回を迎える本年の鑑評会には全国各地の蔵元から957点の吟醸酒が出品され、予審を通過した入賞酒487点で決審が行われた結果、最終的に255点に金賞の栄誉が与えられました。

当社においては、昨年に引き続き本店三号工場、本店二号蔵、旭蔵の三酒造場が金賞を受賞しました。なお、6月11日に東京池袋サンシャインシティにて開催される「日本酒フェア2008」で一般公開が行われる予定です。

以上